



ポテコ・なげわと雑誌小学五年生のコレボレーションにより、ポテなげ指文字トランプが誕生しました！

トランプをダウンロードして作るところから楽しめるよ。

ポテコ・なげわの指文字キャラクターならではの、おもしろい遊び方も試してみてね。

みんなで楽しく遊んでみよう！！

トランプ以外の
遊び方を教えるよ！



ゲームを始める前に

ゲームを始める前に

○用意するもの

- ・ポテなげ指文字トランプの PDF ファイル（東ハトサイトからダウンロードできます）
- ・A4 の厚めの印刷用紙（ハガキくらいの厚さをおすすめします）
- ・はさみ
- ・のり

※はさみやカッターを使うときはケガなどに十分お気をつけください。

※ペーパークラフトの用紙を表示、印刷するには、Adobe Reader が必要です。

※印刷用紙はプリンタにあった専用の用紙をお使いください。

○作り方

1. まずは特製ポテなげ指文字トランプをダウンロードしてください。
2. ダウンロードした PDF ファイルを Adobe Reader で開いてください。
3. 開いたら 8 ページ目の「シートうら」を A4 の用紙に 4 枚印刷してください。
4. 4 ページ目から 7 ページ目までを、3. で「シートうら」を印刷した裏面に印刷してください。
5. ポテナげ指文字カードを 48 枚、暴君ハバネロの KING カード 4 枚、ジョーカー 2 枚、組み立てトランプ箱を線に沿って切り抜いてください。
6. 箱は、線に沿ってすべて山折りにし、「のりしろ」にのりを貼って右のように組み立て、カードをしまう箱にしよう！この指文字は「手話」をもとに作られています。

カードの読み方

- 文字は濁音（「が」「だ」など）でも半濁音（「ば」「び」など）でも読める。
- 「つ」「や」などは、「っ」「ゃ」とも読める。※たとえば「しようす」は「じょうず」と読める。
- 「を」は「お」と読む。「げ」は「け」、「ぼ」は「ほ」「ぼ」とも読める。
- KING とジョーカーは、どんな読み方もできる万能カード！音引きの「一」の代用もできるよ！



ポテナげしりとりゲーム

- 1) 2~4 人で遊ぼう。カードの文字で「しりとり」をするよ!
- 2) カードをよくきって、すべてのプレイヤー全員に順に配る。
- 3) ジャンケンで勝った人が、最初のカードを出す。単語になっていれば 1 枚でも、2 枚以上並べてもいい。ただし必ず読み上げること!
- 4) 回り順に、前の人が出したカードと『しりとり言葉』になるようにカードを出していく。単語になっていれば、2 枚以上出しても OK!

※**図 1** 1 番目が「か」を出す。

- 2 番目が「い」を出し「かい」
- 3 番目が「こ」を出し「かいこ」
- 4 番目が「く」を出し「かいこく」・・・。

5) しりとり言葉にならないから、続けられる文字だけ残し、あとのカードは流す。

※**図 2** 5 番目が「か」「い」を流し、「こ」「く」を残して「ち」を出し「こくち」

- 6 番目が「こ」「く」を流し「ち」を残し「す」を出して「ちず」・・・。

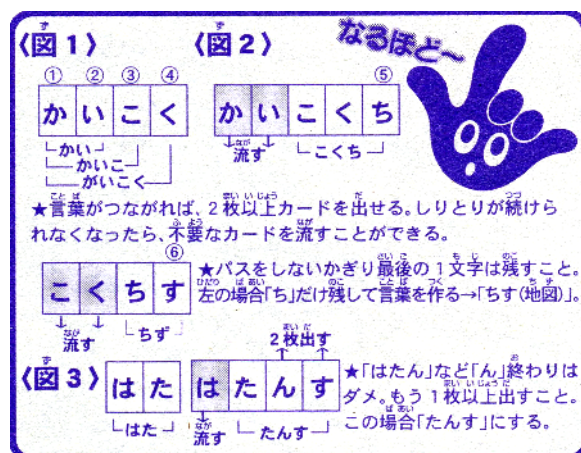
6) 流したカードは裏にして重ね、よく切って山にしておく。

7) しりとり言葉にできるカードがなく、パスをする人は、山から 1 枚引く。もし引いたカードで言葉を作れる場合は、すぐに出してもよい。

8) 最初に誰かの手札がなくなったらゲーム終了! なかなかゲームが終わらない場合は手札が一番少なかった人が勝ち!

〈注意!〉

- KING とジョーカーはどんな読みもできるが、場に出したら、出した人が言った言葉でしか使えない。
- 全員がパスをして一回りしたら、場にてているカードをすべて流して、最初にパスした人が 1 枚出して、新たに始める。
- 「ん」は他のカードと組み合わせで出し、「ん」で終わらない言葉を作ること! 「ん」で終わったら失格! **図 3**



トランプ以外の
遊び方を教えるよ!



ワードゲーム 2種の遊び方

ポテナげクロスワード

- 1) 2~4人で遊ぶ。
- 2) カードをよくきって、プレイヤーに5枚ずつ配る（裏にして）
- 3) 残りのカードは裏返して山にして重ね、一番上の1枚をめくって、場の真ん中に置く。
- 4) ジャンケンで勝った順に、場に出されたカードの上下、左右にカードをくっつけて置いて、言葉を作っていく（ななめには置けない）。
- 5) 手持ちのカードがなくなったら順に勝ち。

〈ルール〉

●出ている文字と出した文字を一直線に続けて読むと、言葉（名詞）にならなければならない。

●横置きの場合は左→右へ、たて置きの場合は上→下に読む **〈図4〉**

※カードの向きは、ジャンケンで勝った人の場所から見た方向。

●3文字言葉を作ったり、1枚で2つの言葉を作った人は、続けてもう1枚出すことができる。
（出さなくてもよい） **〈図5〉**

●4文字言葉を作ったとき（4文字目を置いた人）は、続けてもう2枚出すことができる。
（出さなくてもよい） **〈図6〉**

※以下、5枚目はもう3枚、6文字目はもう4枚・・・と出せる。

●すでに出ている文字は、たて、横に読めなければならない。すでに出ている文字がジャマになる場合は、その文字カードを取って新たな言葉を作ることができる。 **〈図7〉**

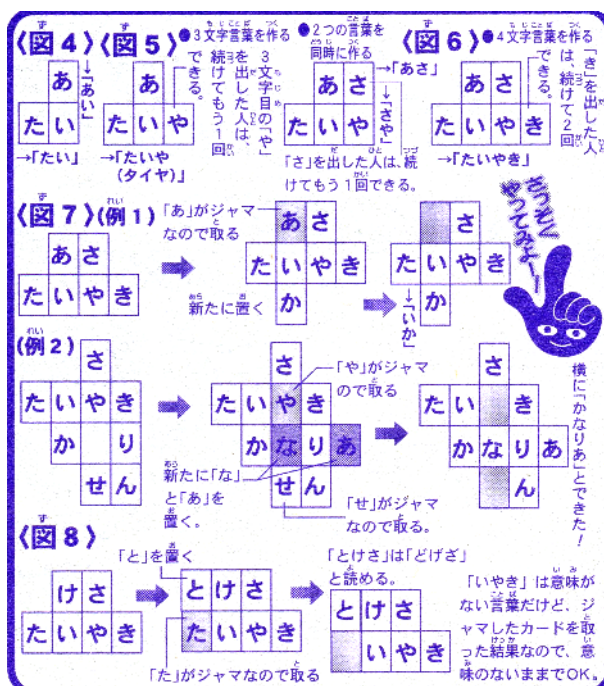
取ったカードは手札となる。

●ジャマになるカードを取った結果、出したカードと関係ない場所に言葉にならない文字列ができてかまわない。 **〈図8〉**

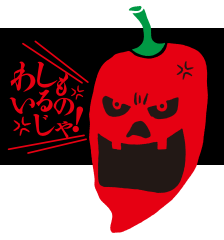
●出すカードがない場合は、山から1枚取る。

●KINGとジョーカーは、どんな字にも読めるが、後からこれにくっつける人も好きな文字として読める

（KINGとジョーカーを出す人は、何と読むか声に出す。言わなければペケで山から1枚取る）



制限時間を作ったり、2文字しりとりだけにしてみたり、みんなで工夫して楽しいルールを作っていこう！



●シート1 表



切り取り線

山折り線

